

米沢興讓館高校SSH通信

平成27年3月20日(金)～23日(月)、つくば市を会場として第4回「科学の甲子園」全国大会が開催された。今大会は全国7千人を超す過去最大規模の参加となり、その各都道府県予選を勝ち抜いた代表47チームによる頭脳の戦いが繰り広げられた。本校も山形県予選で優勝を勝ち取り、全国大会初出場として代表8名が参加した。競技は、理科や数学の知識やその活用能力が問われる筆記競技と実験での考察力やものづくり等の創意工夫力が問われる3つの実技競技の総合得点で順位の決定がなされる。それぞれの競技は、複数名でチームとして参加し、話し合うことも認められているため、コミュニケーション力も大事となる。

米沢興讓館チームは、全国大会出場決定後、県教委主催による2度にわたる強化講習会へ参加し本大会に臨んだ。大会結果は総合順位27位であった。初出場ながら生徒はよく善戦し、それぞれの競技でベストを尽くした。生徒は全国トップレベルの力を肌で感じると共に、大会期間中の様々な場面での交流を通して、全国のライバル達と互いの健闘を讃え合い、友情を育んだ。本大会で得られた全国のライバル達とのネットワークは、生徒達にとっては大会結果以上の収穫となったのではなからうか。そのようなライバルが全国にいることを意識しながら、より一層高みを目指して今後の学校生活に精進していつてもらいたい。さらに、その意識の向上を学校の仲間

に波及させてもらえれば最高である。本大会の参加に際しては、強化講習会等のコーディネーターや大会期間中の御助言等をしてくださった県教委・県教育センター、競技に関する御講義や様々な実践的御指導をしてくださった山形大学の先生方、御支援いただいた公益財団法人近野教育振興会・公益財団法人中谷医工計測器振興財団、公益信託荘内銀行ふるさと創造基金の各機関・団体の皆様様には、本紙面にあらためて謝意を表したい。それでは、生徒の感想で大会の様子等を振り返ろう。



スワップミートにて山形県をアピール

全国大会に出場した高校はほぼ全てが進学校で、もうすでに大学入試に向けて本気で動き始めているので、自分もそんな彼らと大学入試で戦わなくてはならないので、彼ら以上に真剣に勉強しようというやる気が出た。これからもこのように全国のライバル達と競い合えるような機会があったら積極的に参加したい。大学入試もチームワークなので、全国大会で培った経験を友達にフィードバックして、興讓館全体のやる気向上につなげたい。T・T



実技競技②「つくばの名水」開始前の様子

自分にとってとても有意義なものとなりました。残念ながら入賞することはできませんでしたが、普段は感じる事ができない全国レベルを実際に感じる事ができたからです。また、そのようなレベルの高い科学が得意な全国の高校生達と交流する事ができたのは、自分を高めるうえでとてもよい経験となりました。さらに、競技終了後のノーベル賞を受賞された天野教授の講演会など貴重な体験をたくさんすることができました。R・K



エクスカージョン「筑波山フィールドワーク」にて

ロープウェイでは一ヶ月前から準備を進めて入賞を狙ったものの、予選敗退で終わってしまいました。しかし、この1ヶ月の間、仲間とともに何度も試作と実験を繰り返し、一つの作品を作り上げていくのが本当に楽しいひとときでした。また、フェアウェルパーティーで他の県の選手と交流しながら食事を楽しむことができました。宿泊先でも互いに自分の学校のことなどについて夜遅くまで語り合うこともあり、他県の高校を知る良い機会となりました。是非この全国大会を後輩に体験して欲しいと思います。Y・M

全国から選ばれた日本の将来を担う若き頭脳が一堂に会する「科学の甲子園」全国大会



033

山形県立米沢興讓館高等学校SSH事務局

URL <http://www.yonezawakojokan-h.ed.jp/> Email yonekojo@pref-yamagata.ed.jp
〒992-1443 山形県米沢市大字笹野1101番地 TEL0238-38-4741 (代表)

